


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立世田谷泉高等学校 定時制課程		進路実績	四年制大学	22%	短期大学	3%	専門学校	28%	就職	10%	その他	37%
		『Challenge Spirit』のもと、「学ぶ時間帯」「学ぶ計画」「学ぶ科目」を生徒が主体的に選び、生徒自身が自分の未来へチャレンジする単位制・三部制のチャレンジスクール		基	資格取得(漢字検定・英語検定・情報技術検定等単位認定)、教育相談部と連携した進路指導									
所在地	〒157-0061 世田谷区北烏山九丁目22番1号		電話番号	03-3300-6131										
	アクセス	(1) 京王線千歳烏山駅下車 徒歩15分または小田急バス昭和大病院下車徒歩5分 (2) JR中央線吉祥寺駅南口下車 小田急バス千歳烏山北口行(約25分)ときわ橋下車徒歩5分 (3) 京王井の頭線高井戸駅下車 関東バス北野行(約20分)北給田下車徒歩5分												
本学	総合学科													
在籍生徒数	1部204名(男子80名・女子124名)		2部238名(男子99名・女子139名)		合計627名(男子290名・女子337)									
	3部185名(男子111名・女子74名)													
教育課程の特徴	三部制・単位制・総合学科の定時制高校。入門科目(英語入門等)や興味関心に応じた「生活・福祉系列」「創作・表現系列」「制作・技術系列」の系列科目群を設置													
ホームページ	http://www.setagayaizumi-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算		30年度(単位:万円)		2,900							
その他	校 服		標準服	男子プレザー(紺)		女子プレザー(紺)								
入学者選抜情報	募集人員	第一次募集:1学年相当:170名、2学年相当:15名 (いずれも男女問わず)												
	募集区分	部		募集区分		29年度	30年度	31年度						
その他特徴	分割前期	1部～3部		1学年相当		1.52	1.71	1.29						
	分割後期	1部～3部		1学年相当		0.20	0.20	0.07						
その他特徴	中学校からの調査書は不要。面接と作文及び志願申告書で選考を行う。													
主な学校行事	体育祭(5月)、華泉祭(文化祭・10月)、学習成果発表会(3月)													

目指す学校 不登校経験や中途退学など、これまでの学校生活では自分の個性や能力を十分に発揮できなかった生徒に「である・みがく・いきる」の教育目標を踏まえ、生徒の元気や意欲が湧いてくる教育活動を行い、充実した学校生活を過ごすとともに、卒業後の自分を見出し、自立的に生きる人間を育成する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	学力スタンダードを基に基礎学力の定着と充実を図る。 ・本校の学力スタンダードの実施と実施後の検証を通して、基礎基本の定着を図るとともに、より良い学力スタンダードを構築する。 ・進学等上級学校への進路を希望する生徒への応用力等を高める授業を展開する。 ・学力向上に向け、習熟度別授業、少人数授業、系列科目を充実させる。	・学力スタンダードの実施と検証を通して、国語、英語、数学をはじめ各教科の基礎学力育成についての共通理解が大幅に進んだ。 ・選択・系列科目を専門科目36科目、普通科目24科目を設置、また、学校設定科目を44科目設定し、応用力を高め、難関大学にも合格を果たせた。 ・国語、数学、英語で習熟度別授業、地歴・公民、家庭、体育で少人数授業を展開し、生徒へのきめ細かい指導が実施できた。	
目標②	キャリア教育の推進と希望進路の実現を図る。 ・初年次からの計画的・意図的キャリア教育を実施し、日常的に進路意識を醸成して生徒の希望進路の実現を図る。 ・進路部と年次(学年)、教育相談担当、保健部との生徒情報の共有化を図り、生徒の実情に応じたきめ細かい進路指導を行う。 ・生徒個々の状況に応じ、外部支援機関との連携による進路実現を図る。	・「進路体験学習」や「進路ガイダンス」年5回実施し、進路意識の醸成と進路選択に生かすことができた。 ・保護者会等を通して、保護者に対する情報提供を行うことができた。 ・ハローワーク訪問及び来校指導、また、せたがや若者サポートステーション等ときめ細かな連携ができた。 ・学校外専門機関との連携強化、相談活動を実施し、効果を上げた。	
目標③	教育相談活動の充実活用により、生徒の充実した学校生活を支援する。 ・特別支援教育推進委員会や特別支援教育コーディネーターを中心に、学校医やスクールカウンセラー、YSWによる教育相談活動を充実させ、生徒個々の課題に迅速に、きめ細かく、丁寧に対応して課題解決を図る。 ・外部専門機関との連携と協力を得て、生徒一人一人が充実した学校生活を過ごすことができるよう生徒の支援を行う。	・自立支援チームの導入により、多様な生徒の悩みにいっそう連続的、継続的に対応できるようになった。 ・専門医による講演会「Drによる生徒理解」、生徒に関する個別事例相談等を実施し、相談活動に生かすことができた。 ・スクールカウンセラーや学校医による相談活動の充実と外部専門機関との連携強化が図れた。 ・家庭とのこまめな連絡や生徒情報の共有が図れるようになってきた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		2年度	3年度	4年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校行事の出席率を75%を目指す。(%)	75	80	80	80	80	80	85	80	85	85	85
目標②	生徒の希望する進路の実現率80%を目指す。(%)	80	90	90	90	90	90	90	90	90	90	95
目標③	生徒理解と課題解決のための校内研修会を年6回以上実施する。(回/年)	6	6	6	6	6	6	7	6	7	7	8

